

商工会議所は、市など一定地区内の商工業の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域の総合経済団体です。各県には県内の商工会議所を会員とした商工会議所連合会有り、会員間の協調を図るとともにその意見を集約し、行政機関および県内経済団体などとも連携して、産業経済の改善・発展に寄与することを目的とした事業活動を行っています。

このシリーズでは、中部9県の商工会議所連合会を訪問し、各県の現況や課題、商工会議所連合会、および傘下の商工会議所の活動などについてのお話を伺います。

第3回となる今回は富山県商工会議所連合会です。

第3回 富山県商工会議所連合会

富山県商工会議所連合会概要

住 所：〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3

代表者：会長 犬島伸一郎（富山商工会議所会頭）

URL：http://www.ccis-toyama.or.jp/

創 立：1961年5月12日

県内商工会議所数：8

地区内商工業者数：41,447（2012.4.1現在）

県内商工会議所会員数：16,622（2012.4.1現在）



会 議 所 名	所 在 地	会 議 所 名	所 在 地
富山商工会議所	富山市総曲輪2-1-3	魚津商工会議所	魚津市釈迦堂1-12-18
高岡商工会議所	高岡市丸の内1-40	滑川商工会議所	滑川市田中町132
氷見商工会議所	氷見市南大町10-1	砺波商工会議所	砺波市永福町6-28
射水商工会議所	射水市本町2-10-35	黒部商工会議所	黒部市植木23-1

富山県商工会議所連合会

常任理事・事務局長 松岡 忠一 氏



1. 富山県商工会議所連合会の役割

各商工会議所・各団体と密に協調して
さまざまな活動を

—富山県商工会議所連合会の役割や主な事業内容
についてお聞かせください。

松岡 富山県商工会議所連合会（以下、連合会）は、富山県内8つの商工会議所のまとめ役、調整役の役割を担っております。連合会は、会議所あつての団体であり、各商工会議所の活動を積極的に支援しております。

具体的な活動としては、各商工会議所が重点事項に掲げる諸施策の実現や促進のための支援、国や県に対する要望事項のとりまとめや要望、陳情等を行っています。関連して年に一回、連合会役員と知事との県施策などに関する懇談会を行っています。そのほかに、県や経済団体などとの連絡調整や経営指導員の研修会などの支援、商工会議所の青年部連合会や女性会連合会への活動支援なども行っています。

また、5つの団体の事務局も務めております。

●北陸新幹線建設促進富山県民協議会：

この会では、北陸新幹線建設促進のための事務局として、総決起大会の開催や政府、中央省庁に対する陳情などを行っています。

●富山空港を発展させる会：

この会では民間サイドから富山空港を守り育て発展させていくことを目的に、富山空港のPRや空港利用促進に係る各種の助成事業などを行っています。

●富山県国際経済交流推進協議会：

この会では富山県と友好県省を結んでいる中国遼寧省との経済交流として、商談会の開催や企業訪問などを行っています。また、韓国との経済交流の推進や県内企業の海外見本市出展支援なども行っています。

●富山県警察官友の会：

この会では、警察官の立場や職務を理解し、その苦勞に感謝するとともに、警察官活動を支持激励するための慰問激励や表彰などの活動をしています。

●富山県万引防止対策協議会：

この会では、少年の万引を防止するため、広く県民の万引防止意識の啓発と普及の徹底を図っております。

このほか、2010年度・2011年度には「伏木富山港機能向上協議会」の事務局も担っていました。

—各商工会議所の取りまとめにあたって、苦勞されている点があればお聞かせください。

松岡 各商工会議所は非常に協力的で、苦勞というほどのことを感じることはありません。ただ、国や県に対する要望事項をとりまとめる場合などにおいては、商工会議所の仕事が非常に多岐にわたっていることから、しっかりとしたものにとりまとめるのに苦勞することがあります。

—行政やほかの経済団体とはどのような連携をとっているのでしょうか。

松岡 県内には、5つの経済団体（富山県商工会連合会、一般社団法人富山県経営者協会、富山県中小企業団体中央会、富山経済同友会）があります。そのうち、富山経済同友会を除く4団体で、2010年度より「新春互礼会」を共同で開催しております。

また、今年度で7回目となりますが、商工会議所と商工会連合会が共同して「とやまビジネスドラフト事業」(商談会)を行っています。当初は富山商工会議所が単独で実施しておりましたが、大変好評だったので、2010年度から富山県、石川県、福井県にエリアを拡充するとともに、3県の商工会議所と商工会が共同で開催しています。この商談会には3県の商工会議所や商工会の会員であれば誰でも参加でき、今では各県で毎年1回ずつ開催しております。現在、県の方から補助金もいただいております。この事業については、東海北陸自動車道が開通しましたので、将来は名古屋地域までエリアを広げたいと考えております。

また、東日本大震災では県の働きかけもいただいて、経済5団体が協力連携して被災地に対し共同で、救援物資などの提供支援などを行ってまいりました。

このように県や経済団体とは、必要な都度、話し合い、柔軟に協力連携して対応してきております。

2. 富山の産業

豊富な水・電気、勤勉な人材、恵まれた自然環境が、日本海側屈指の工業集積地を形成

—富山県の産業の概要、特徴についてお聞かせください。

松岡 富山県は河川が多く、地下水も豊富にあり、良質な水資源に恵まれています。さらに、河川も急流河川が多く、豊かな電力を作り出してきました。本県では大正時代あたりから、そうした豊富な水資源と低廉な電力を利用して、化学、紡績産業が発展してきました。

そして1964年には、全国総合開発計画(第一次)の新産業都市構想により、富山市、高岡市などが「新産業都市」に指定されたことを契機として、アルミなどの金属や機械産業の集積が進みました。

近年では、電子材料分野業界における新たな事業が展開され、電子部品、デバイス、電子材料の

企業が集積してきております。

こうしたことからおわかりのように、富山県はものづくりの県であるということです。2010年の国勢調査では、第二次産業の就業人口割合が全国トップでした。全国平均23.7%に対し富山県は33.4%で、全国平均より10ポイントも上回っています。また、2010年時点において、1人あたりの製造品出荷額は、全国平均226万円に対し、富山県は295万円、また、1人あたりの付加価値額(生産額-[原材料使用額+減価償却費+国内消費税])は、全国平均71万円に対し、富山県は107万円となっております。

また、富山県は、労働者の平均勤続年数が長く全国1位(2011年調査)となっております。粘り強く勤勉な県民性を有するとともに、一方では進取の気性にも富んでいると言われております。

●富山県製造品出荷額等の上位5業種

順位	業種	金額 (単位:億円)	特化係数
1位	化学	4,437	1.52
2位	電子部品	4,416	2.24
3位	金属製品	3,532	2.58
4位	非鉄金属	3,195	3.22
5位	生産用機械	2,498	1.64
出荷額総額		32,233	

*特化係数=その地域の当該業種の出荷額等構成比/全国の当該業種の出荷額等構成比
(経済産業省:H22工業統計表)

富山県の製造品出荷額などの上位5業種は、1位から順に、化学、電子部品、金属製品、非鉄金属、生産用機械となっております。化学では「くすりの富山」といわれているように医薬品製造がその半分以上を占めています。富山県の医薬品生産額は、5,754億円で全国3位となっており、人口1人あたりでは52.9万円と全国1位(2011年薬事工業生産動態統計調査)で、医薬品製造に関しては現在でもトップクラスです。

高岡市には銅や鋳物の加工技術を活かしたアルミ産業が集積しており、また、ファスナーで有名なYKKが黒部市にあります。そのほか、県内には自動車部品生産の企業がたくさんあります。

ー日本海側最大の工業集積地である富山県ですが、
現況と課題についてお聞かせください。

松岡 県の資料にも掲げられておりますが、課題は3つほどあると考えています。1つめは新しい成長産業を育てていかなければならないということです。医薬品、バイオなどの健康関連産業の育成や、富山県の豊富な水資源を活かした小水力発電、太陽光発電などの環境エネルギー関連産業、次世代自動車の関連産業の育成などを図っていかねばならないと思います。

また、先端ものづくりの分野では、航空機産業へ参入し、ロボット産業を次世代の産業の柱として育成することが大切です。

2つめは、未来を拓いていく人材の育成です。特に中小企業の人づくりが大切だと思います。

そして、3つめは産業の空洞化の問題です。超円高や原油高、電気料金の値上げなどから、企業の生産拠点を海外に移していかなければやっけないといわれていますが、果たして日本はそれでいいのだろうかと思っています。国内の雇用の喪失や地域産業の崩壊につながるのではないかとの懸念をしています。

ー各地域の商工会議所の特色ある産業振興策があればご紹介ください。

松岡 各商工会議所ではたくさんの活動をしておりますので、主なものをご紹介します。

まずは、先ほどお話ししました富山商工会議所が中心となって実施している、「ビジネスドラフト」です。北陸3県の商工会議所・商工会会員による大掛かりな商談会、ビジネスマッチングです。

高岡商工会議所では、「高岡産業文化振興基金奨励事業」として、新製品の開発、素材や技術の研究開発などの優れた研究開発を行っている企業や文化観光の振興に貢献している団体に対して奨励金を交付しています。今年からは、観光分野の奨励枠を広げて高岡市の中心商店街や観光地周辺で観光土産品店や飲食店などを新規で出店する事業者に対し特別枠を設け、奨励に努めています。

魚津商工会議所では、「魚津をまるまる見て、

まるまる食べて、まるまる遊ぶ」をテーマに「魚津産業フェア^{まるまる}〇〇うおづ」を開催しています。魚津市内の商工業者、農林水産業者が、地元の商品や企業技術を積極的にPRする市最大の産業フェアです。

射水商工会議所では、2004年に韓国仁川商工会議所と姉妹提携を結んだことを契機に、相互に訪問し、展示商談会などの交流を行っています。

ー良質な米づくりが中心の農業、日本海側有数の漁場である富山湾を有する漁業など「食」に対する評価の高い富山県ですが、農商工連携などの活動があればご紹介ください。

松岡 まず、景色がきれいで魚がおいしく、民宿などが栄えている氷見市の取り組みをご紹介します。宿泊の際、夕食はもちろん氷見ならではのメニューですが、朝食にも氷見らしい物を提供できないかということで、氷見商工会議所が中心となり「氷見朝食研究会」を立ち上げました。「めざせ！日本一美味しい朝食プロジェクト」として、氷見市、氷見市観光協会、地元漁業者、民宿、旅館、料理店などに参加いただき考案したのが、地元で採れる海藻「ナガラモ」を使ったヘルシーで



海とろめしPRチラシ

おいしい「海とろめし」です。民宿や旅館などの朝食で旬の1、2月に味わえますので、ぜひ召し上がっていただきたいものです。

砺波商工会議所は、特産品の玉ねぎを用いたカレーの開発や特産の大門素麺の「半生素麺」の商品開発に取り組んでいます。

また、滑川商工会議所では、地産地消、地域の活性化を目的として、ホタルイカや地元のおいしい魚を使った料理を提供する市内の店を紹介する「龍宮ブランド」事業を計画中です。

—立山黒部アルペンルート、黒部峡谷鉄道、宇奈月温泉といった有名観光地を有する富山県ですが、現況と課題についてお聞かせください。

松岡 株式会社日経リサーチの「地域ブランド戦略サーベイ（2010年全国2万人へのインターネット調査）」では、満足度の高い観光地ベスト30に県内からは黒部峡谷、立山黒部アルペンルート、五箇山の3ヵ所が入っています。しかし、県の調査によりますと、富山県に来る観光客の宿泊旅行1回あたりにかかる費用と現地滞在時間が全国平均よりも少ないことが分かりました。観光地の魅



雪の大谷・立山

力の要素は、おもてなし、地元らしい食事や体験ができること、歴史、文化、街並み、景観などであり、富山県にはそれらが揃っています。今後は、いかに観光客の満足度を上げて、滞在時間を長くしてもらえるかを考えていかなければなりません。

県などでは、富山の新たな魅力発信と観光客の増加を目的に「立山アルペンヒルクライム」を今年6月に開催する予定です。これは富山県の代表的な山岳観光地「立山黒部アルペンルート」を自転車で駆け抜ける「ヒルクライム」の大会です。山岳観光とスポーツを融合したスポーツ・ツーリズム観光地として国内外に発信し、全国的なイベントになるよう取り組んでいます。

また、訪日外国人観光客の減少も課題の一つです。外国人観光客に人気のある立山黒部アルペンルートの「雪の大谷」では、台湾の観光客は東日本大震災以前の人数に戻ってきましたが、残念ながら韓国、中国からの観光客は減少したままです。県では今後、タイやシンガポールからの観光客も増やしていきたいと考えており、そのためにはチャーター便の増便にも力を入れたいと聞いておりますので、できるだけ協力をしていきたいと思っております。

—全国的に中心市街地の活性化が課題となっていますが、富山県の取り組み事例をご紹介下さい。

松岡 2006年に中心市街地活性化法が改正され、2007年に国の第1号認定を受けたのが富山市です。現在、高岡市とともに第2期計画の認定を受けて推進しているところです。富山市では「株式会社まちづくりとやま」が、高岡市では「元気たかおか未来会議」が中心となり、空き地や空き店舗の活用、来街者の増加などの課題に取り組んでいます。商工会議所は、それら各種事業の協力・支援を行っています。

また、砺波商工会議所では、「県がんばる商店街支援事業」の一環として、商店街の老朽化したフラッグを新調し、商店街に統一感を持たせ、誘客を図るとともに店主らの街おこしの意識を高めることに協力しております。

射水商工会議所では、新湊大橋開通をきっかけに、「内川レトロ食べ歩きツアー」と題して、観光船で内川をクルージングした後に商店街で新湊の地元の味を食べ歩きながら散策するツアーを実施しています。

ーほかにも商工会議所の特色のある活動があればご紹介ください。

富山 富山商工会議所では、とやま弁の魅力を高めて言葉の文化や郷土愛を後世に伝えることを目的に、「しゃべらんまいけ！越中・とやま弁大会」を毎年開催しています。今年で8回目となりますが、毎回、市民の方で超満員になる大変人気のあるイベントです。文化地域振興に非常に役立っています。

高岡商工会議所では、観光振興の一環として「高岡古城公園おぼめぐり遊覧船運行事業」を実施しています。高岡古城公園は全国でも屈指の水濠公園で、四季折々の美しい景観を遊覧船で楽しむことができます。

また、1986年から全国のクリエイター交流の場を目指して「工芸都市高岡クラフトコンペティション」を開催しています。全国公募のこのコンペは、

毎年300名以上、2,000点近い応募があり、ものづくりのまち高岡として多くの作家を育てています。

射水商工会議所では、射水市の優れた企業経営者から経営姿勢や戦略を話してもらう「創造企業報告会」を行っています。

氷見商工会議所では、氷見市出身の漫画家、藤子不二雄氏の描いた「忍者ハットリくん」に出会えるまちとして、からくり時計や石像などを比美町商店街に配置し、話題のあるまちづくりを行っています。

黒部商工会議所では地域に根差した「地区商工振興会事業」を実施しております。これは地域力（まちぢから）と地域産業の活性化のために、小学校区ごとに商工会議所会員と地区の希望者が振興団体として商工振興会を設立します。そこでは、地区内の課題を話し合う場を設け、研修会を行ったり、商工会議所が各地区の祭り、ボランティア活動に対して活動費を助成したりしています。そのほかに東日本大震災の支援にも力を入れており、長期・短期の被災者の受け入れや就労の斡旋、住居・生活資材の提供を続けています。

3. 富山県のインフラ整備

陸海空のインフラ整備充実で他県との往来が便利に

ー北陸新幹線の金沢までの開業が迫っていますが、開業に備えた富山県の経済界、地域の取り組みについてご紹介ください。

富山 富山商工会議所では北陸新幹線の開業に向けて、「北陸新幹線・地域活性化特別委員会」を立ち上げるとともに、その下に4つの分科会（交通体系分科会、まちづくり分科会、産業基盤強化分科会、観光分科会）を設置し、課題の整理や具体的な事業展開方策などを検討しています。

高岡商工会議所においても、2012年5月に「新幹線まちづくり推進高岡市民会議」を設置し、官民一体となって新幹線開業効果を最大限に引き出すアクションプランに取り組んでいます。

2012年しゃべらんまいけ！越中・とやま弁大会

また、県でも「県民行動計画」を作り、「元気とやまの協働戦略アクションプラン」を策定するため「新幹線戦略とやま県民会議」を設置しました。さらにその下にプロジェクトチームを2つ設け、併せて「地域会議」も設けています。富山県には新幹線の駅が3か所できますが、それぞれの駅を中心とした地域のまちづくりなどさまざまな方策の検討を行っています。黒部駅周辺では「新川地区会議」、富山では「富山地区会議」、高岡では「県西部地区会議」です。この組織のトップには、商工会議所の会頭や顧問が就任し、産官学の方に参加していただき、北陸新幹線の開通後の観光振興や交流促進、産業振興などについて検討を行っています。



富山駅デザイン案（写真提供：鉄道運輸機構）

—北陸新幹線開業後は中部、関西からの特急列車は金沢止まりとするとJR西日本が発表しましたが、富山県ではどのように捉えていますか。

松岡 現在、県が中心となってJR西日本と話合っています。私どもとすれば、富山駅から中部・関西方面への特急列車の存続を期待しておりますが、これにはさまざまな難しい問題があると聞いております。

—東海北陸自動車道全線開通は、富山県と東海地方との交流にどのような影響を与えたかお聞かせください。

松岡 2008年7月に一宮ジャンクション（愛知県）から小矢部砺波ジャンクション（富山県）まで全線開通しました。今年で4年目となりますが、開通前と比較して2～3倍の交通量があり、氷見市

の海鮮館や魚津市の海の駅では県外からの訪問者が大変増えたと聞いております。また、県民の東海方面への車の旅行が増えていると聞いております。このように、東海北陸自動車道の全線開通は県内の活性化に貢献するとともに、大きな経済効果をもたらしていると思います。

—環日本海交流への取り組み、整備状況についてお聞かせください。

松岡 富山空港の国内定期便は、現在、羽田6便、千歳1便の2路線となっており、国際定期便は、北京便（大連経由）、ソウル便、上海便、台北便と地方空港としては豊富な4路線が就航しています。国際定期便についてはこれまで年々各国の首都と結ぶ国際線が増えており、喜ばしいことであり、大切にしていかなければならないと思っています。

港湾では、2011年11月に伏木富山港が、国土交通省より日本海側の「総合的拠点港」に選定されました。九州を除くと、日本海側で「総合的拠点港」に選定されているのは伏木富山港と新潟港の2港だけです。現在、伏木富山港には、国際コンテナ航路が6航路、月間46便ありますが（2012年11月現在）、これは6年前の1.8倍となっています。ロシア・韓国・中国などとの貿易などの窓口として重要な役割を果たしています。

陸上では、北陸自動車道に加えて、東海北陸自動車道が全線開通し、さらに2年後には北陸新幹線が開業いたします。このように富山県内の陸海空の交通インフラは、年々、着実に整備が進められてきております。

4. 今後の課題や抱負、その他

日本の未来を拓く環日本海交流の拠点

—今後の課題や抱負、方向性などについてお聞かせください。

松岡 今までの日本の発展は欧米中心で成り立ってきました。今後は、東南アジア、特に東アジア

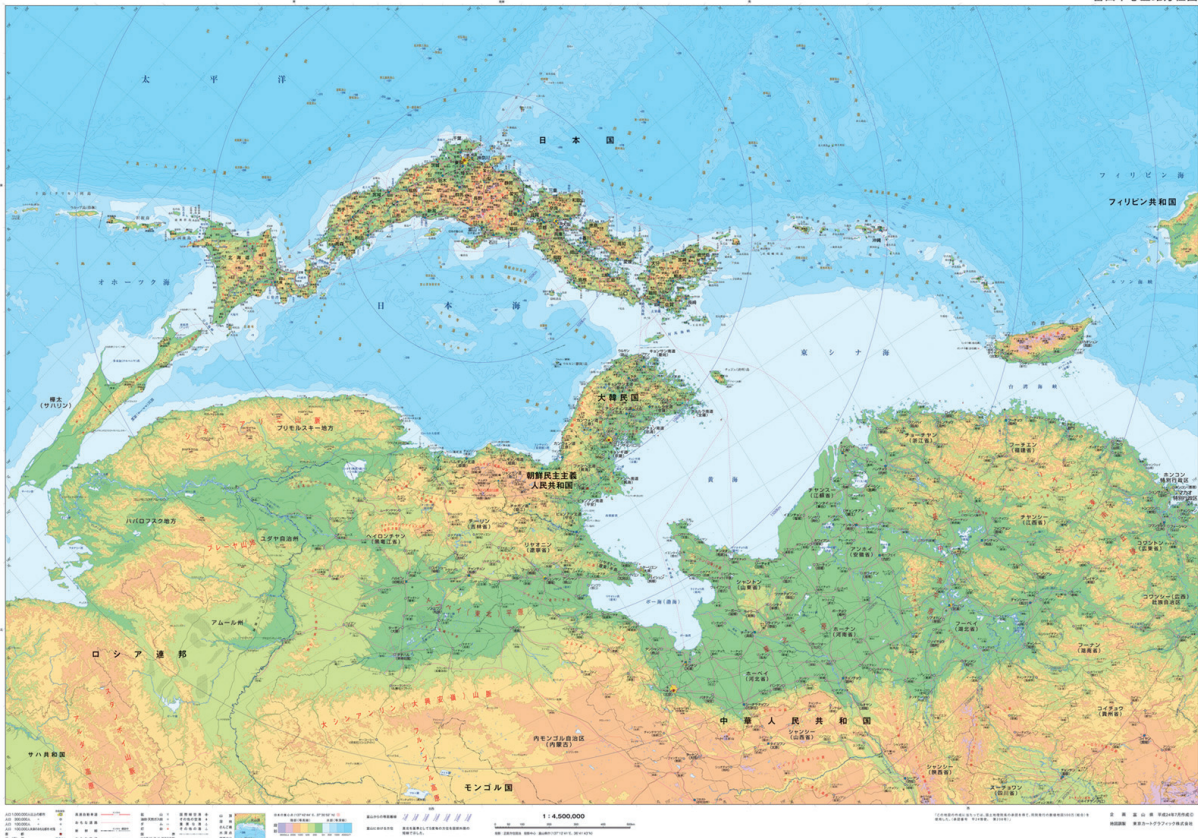
との経済交流がポイントになってくると思います。現在、領土問題により中国とはやや不安定な状況にありますが、それでも、日本の貿易の輸出入の一番の相手国は中国です。中国、韓国、ロシアを含めた環日本海交流が今後ますます盛んになれば、富山県をはじめとした日本海側が、この交流の表玄関として発展するものと考えております。特に、日本の中央に位置し東京など大都市からも比較的近い伏木富山港が、今後、日本海側の中核拠点港として発展していくものと考えております。富山県が作成した逆さ地図「環日本海・東アジア諸国図」を見ていて、いつもそう思っています。

—富山県から見た中部圏とは、どのような圏域なのでしょう？

松岡 商工会議所での地域ブロックは、富山県、新潟県、長野県、石川県の4県で構成されており、そういう意味では、愛知県、静岡県、三重県などは比較的遠くに感じていました。しかし、2008年に東海北陸自動車道が全線開通してからは、そのような感じはなくなりました。そして、太平洋側との経済交流などが急激に盛んになってきたように思っています。今後、相互の経済交流や観光などの往来が深まり、いっそう発展していくものと考えております。

環日本海・東アジア諸国図

富山中心正距方位図



この地図は、富山県が国土交通省国土地理院長の承認を得て作成した地図（の一部）を掲載したものです。（平24情使第238号）

環日本海・東アジア諸国図について

- 見慣れた世界地図を回転させたユニークな発想の地図です。
- 本県が進めている環日本海交流拠点作りを国内にPRするとともに、中国、ロシア等の対岸諸国に対し日本の重心が富山県沖の日本海にあることを強調するため、従来の視点を変えて北と南を逆さにし、大陸から日本を見た地図としています。
- 平成6年に初版を作成しましたが、近年、富山県の近隣諸国との交流圏が拡大してきていることや、近年の交通網の整備状況等を反映したものとするため、今回、改訂版を作成しました。

富山県HPより抜粋

－中部圏において富山県が果たす役割についてどのようにお考えでしょうか？

松岡 これからの日本は、韓国、中国、ロシアをはじめ、東南アジアとの貿易や投資商談などを考えずには活路を見いだすことができないのではないかと思います。そういう意味では富山県には伏木富山港があり、現在、韓国、中国、ロシアとの6つの国際定期コンテナ航路を持っています。また、港湾施設の整備も年々着実に進められていま

す。東海地域の企業も東海北陸自動車道を経由して伏木富山港を利用すれば、時間的にも経済的にも大変有利なのではないかと思います。そして、こうした積み重ねを通じて伏木富山港が東アジアをはじめとする環日本海交流の中核拠点港として、ますます発展することを期待しております。そして、こうした事を通じ、中部圏の一員としてこれまで以上の役割を果たせればと考えているところです。

数字で見る富山県の姿

県庁所在地：富山市 人口422,113人 (2012年11月末現在)

面積	4,248 (km ²)	2010年	
市町村数	15 (市町村)	2012年10月	
総人口	1,093 (千人)	2010年度	
総世帯数	391 (千世帯)	2010年度	
人口密度	257 (人/km ²)	2010年	
就業者数	578 (千人)	2005年	
外国人登録者数	13,857 (人)	2010年	
産業別 構成 比率	第1次産業	4.3 (%)	2005年
	第2次産業	34.8 (%)	2005年
	第3次産業	60.4 (%)	2005年
県内総生産	44,960 (億円)	2008年度	
一人当たり県民所得	2,949 (千円/人)	2008年度	
事業所数	61 (千事業所)	2009年	
鉱工業生産指数	87.6 (05年=100)	2010年	
消費者物価指数	98.5 (05年=100)	2010年	
農業産出額	640 (億円)	2009年	
製造品出荷額	28,680 (億円)	2009年	
卸売業年間販売額	21,230 (億円)	2007年	
小売業年間販売額	11,750 (億円)	2007年	
情報サービス業売上高	500 (億円)	2009年	
大学等進学率	55.2 (%)	2010年	
乗用車保有台数	40 (台/百人)	2009年度	